

新総理選出への声明

2025年10月21日

社会民主党青森県連合

先の参議院議員選挙で、自民党は昨年の衆議院議員選挙に続き、過半数の議席を確保できず、少数与党に転落し、党総裁選出に手間取り、選挙終了後3ヶ月を経過しようやく国会を開催することとなった。

国会開催に当たり、10月20日に日本維新の会と十二項目の政策協議を取りまとめ、「閣外協力」で連立を組み自民党の高市早苗首相を誕生させた。

日本維新の会が、合意の絶対条件としたのは、衆議院議員定数の1割削減、副首都構想、社会保障改革であり、物価高に苦しむ国民の声に応えて得ない。また、外交・安全保障、国家観等基本的な価値観の右傾化である。

さらに、社会保障改革では、医療サービスなどの水準の低下が心配され、とくに、昨年の衆議院選挙や今年の参議院議員選挙で問われた、政治とカネの問題、企業団体献金問題や、消費税減税は先送りにされている。

このように、政権同意で目立つのは、自民党の安保政策などに一定の歯止めをかけてきた公明党が離脱したことで、保守丸出し政策への転換で、憲法、皇室の問題や選択的夫婦別姓、安全保障、外国人政策などに関する維新の要求を受け入れ、憲法9条改正への起草協議会設置、憲法審査会に条文起草委員会の常設、安保3文書改定による軍拡推進、武器輸出の促進、原子力潜水艦の保有、スパイ防止法の制定など政権の右傾化である。

国民や野党の政策や意見に真摯に耳を傾ける姿勢は全く見られない。

このように、新しく誕生した高市内閣は、国民の生活を守るらず、権利を抑制し、政治の右傾化を進め、再び戦争への道へと進む危険な政権で、私たちは全力で阻止し、国民の生活と権利を守るため全力を尽くすことを表明する。